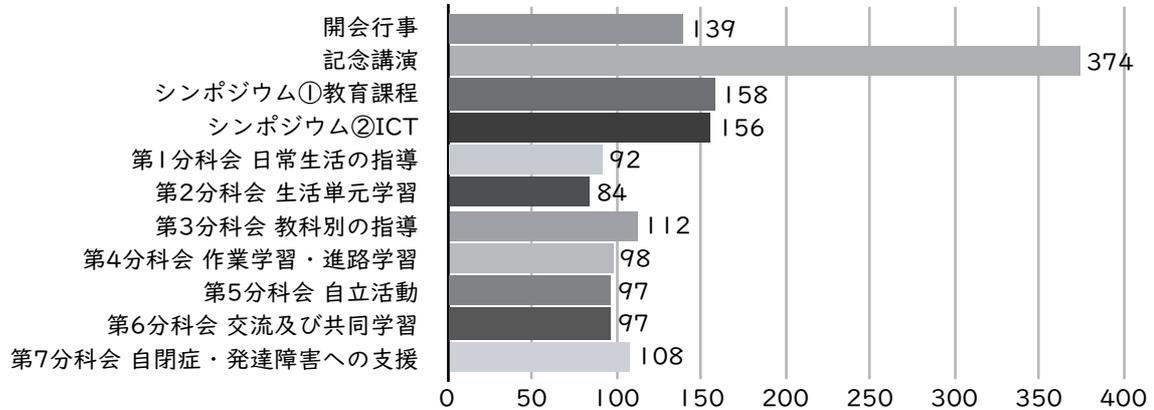


令和4年度
第56回九州地区特別支援教育研究連盟研究大会〈沖縄大会〉
(同時開催) 第50回 沖縄県特別支援教育研究会 研究大会

大会レポート

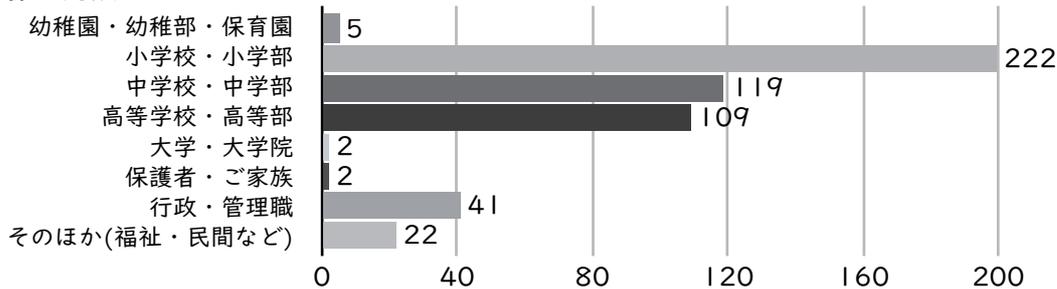
1. 事前参加申し込み **522件** (Microsoft Forms)



2. 当日の参加者 **1093名** (Zoomレポート)

3. 大会ホームページ利用者数
閲覧数 **7,159回** 利用者数 **1,713名**
(Google Analytics、期間：3/16-11/11)

4. 参加者の内訳



5. アンケート結果

(1) 概要

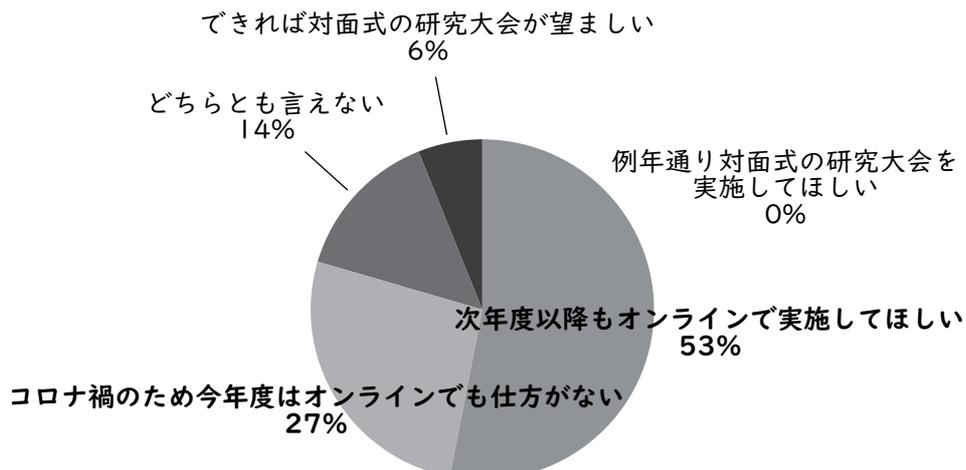
期間：令和4年11月10日(木)～21日(月)
方法：Google Formsで収集(匿名にて処理)
回答：**132件**
対象：研究大会参加者 各位

(2) 満足度

平均評価 **4.15**/5



(3) オンラインでの実施について



(4) 前の質問でそのように回答した理由

「次年度以降もオンラインで実施してほしい」

- オンライン、オンデマンドで開催していただくと参加できますが、対面の場合は参加できないことが多いため。また、大きな会場で遠くのスクリーンを見るよりもPCの画面の方が見やすく集中して見ることができると感じます
- オンラインだと、どこが実施場所になっても参加できるから
- オンラインでの開催もあれば学校からでも参加することができ、興味のある会議に参加しやすいため
- オンラインでも十分に研修の成果を得ることができ、出張等に伴う業務への支障が最小限にとどめられる
- オンラインで実施であると、学校の業務時間に参加できて、休憩時間に児童の様子を確認しながら研修を受けることが可能であるため
- オンラインやオンデマンドで見ることができると、移動や時間の調整がしやすく、多くの人が視聴できるため
- コロナウイルスを考えると集合開催は難しい
- コロナのため
- その方が参加者が増えると思うから
- なかなか会場までいけないが、オンラインなら自分の通う職場での研修に参加できるから
- 移動がないため、ギリギリまで授業や業務ができるのがよい
- 移動しなくてもすぐ研修へ参加することができることやオンデマンドで当日参加することができなくても、研修をうけることができるので
- 移動しなくても良い。児童を預けられない時間以外は視聴することが出来る
- 移動のリスクがないから
- 移動時間がなく、ギリギリまで子ども達に関われる。また、校務に支障なく参加することができるから
- 移動時間が無く効率的なので
- 遠方であっても、時間も費用もかからずに参加できるため
- 遠方であるため。校内からオンライン視聴できるので参加しやすい
- 遠方でも参加できるから
- 遠方まで出向くことなく研修を受けることができるのはありがたいです
- 沖縄は九州へ行くためには時間がかかるため九特連がオンラインだと参加がしやすくなると思います
- 沖縄県は県外へ行くのに費用の面で負担が大きいから
- 画面が見やすく、集中できる
- 会場が遠くても参加しやすいから
- 会場で聞くよりも集中できる
- 会場場所までの移動等がなくスムーズに参加できる
- 学校からの移動時間の短縮になるため
- 学校にいながら、研修会に参加できるので参加しやすい
- 感染が拡大しても安心して実施できるから
- 気軽に参加でき、ライブで参加できない分科会をオンデマンドで視聴できるため
- 気候、コロナ禍に影響を受けることがないのでよい
- 研究大会に参加がしやすかったことです。今回の大会は私の同僚の支援学級の先生方がほとんど参加できていて、とてもいいなと感じました
- 効率的なため
- 校外に出る必要がなく、参加しやすいため
- 昨日も同様に回答いたしましたが、オンラインは場所を問わないので（沖縄県から他県への移動は厳しい）学校行事とも調整しやすく参加しやすいです
- 参加がしやすいため
- 参加しやすいから
- 指導内容や学習の取り組みなどがハッキリみやすく、集中して視聴できるから
- 支援学級担任が複数名研究大会に参加することが難しいため
- 時間の確保のため
- 時間の都合がつけやすい
- 自分の学級の児童を残して（他の先生に頼んで）研修に参加することが心苦しい
- 授業補充のやりくりなどの手間がないのでオンラインが良い
- 出張しなくても、他校の先生の実践を知ることができるから
- 出張に時間をかけて行かなくても研修がうけられるため
- 職場で参加できる。もっと欲を言えば、オンラインも対面式も「どっちものハイブリッド開催」だと嬉しい
- 職場にいながら誰でも気軽に参加ができる。対面とオンラインと両方実施してほしい
- 先生方の研究大会なので、保護者としてはオンラインの方が参加しやすいため
- 他の分科会の内容も大変興味深い為
- 対面が好ましいことは間違いないが、オンラインだと出張できない職員も参加できる
- 対面での開催も臨場感はあるが、負担軽減のためオンライン開催がありがたい
- 対面研修での学びが一番ではあるが、研修の度々に児童の引継ぎや対応を依頼するのが大変である。オンラインだと移動時間がないため、ギリギリまで児童と向き合えるので助かります
- 大会場所へ足を運ばずに、各県からの実践事例や講演、フィードバックのお話を聞くことができるので、授業の空き時間にも参加可能になって良いと思いました
- 平日開催が多いため、学校業務がある。オンデマンド等があれば後日閲覧することもできるので、学びの機会が増える
- 本日は、生徒の下校指導をお願いした上で記念講演に参加させていただきました。オンラインだと、気軽に参加しやすいので大変有難いです
- 予定変更がないのでスムーズに参加できる
- 予定変更等がなくスムーズに進行できる。コロナ禍あるいは天候等の影響
- 離島・へき地の学校ため、対面参加が交通の面でできない場合がある。（船が欠航など）
- 離島からでも参加しやすい

「コロナ禍のため今年度はオンラインでも仕方がない」

- オンラインだと参加しやすい（その場所に行かなくても参加ができる）
- オンラインでの実施により、参加しやすい。大変な部分もあると思うが、良い機会になった
- コロナ禍でリモートは仕方がないと思う。安心して参加できる方法かと思う
- コロナ禍のため
- コロナ禍のため、できれば大人数での接触は避けたい
- なかなかコロナ収束の兆しが見えないので
- まだ終息が見込めないから
- やらないという選択ではなく、どうやったらできるかで開催してほしかったから
- 会場へ足を運ばずとも参加できました。生徒もいる平日の二日間となると普通中学校からはかなり参加率は厳しかったかと思うので
- 会場へ足を運ばなくても参加可能なので、担当児童等の学習の自習体制などを整えやすく、参加が可能になった方もいるのではないかと思うからです
- 感染対策を講じながら多数の参加者にて実施ができるため
- 参加しやすい
- 仕事で移動時間短縮できるため
- 次年度のコロナ禍の好転を願っている
- 対面、オンラインのそれぞれの良さがあると思います
- 対面の方が、実際の声を直接聞くことができると思うが、コロナ禍では無理だと考える
- 対面式での開催の方が、意見等は出しやすいかと思いますが、遠方でも参加できるオンライン開催はありがたいです。運営が大変ですが、対面とオンラインと両方で開催できると良いかと思っています
- 大会は開催した方が良いと思うから
- 大会自体は開いてほしいから
- 徹底した対策をしても、いつ、どこで、どのように感染拡大するか分からない状況ですので、オンライン開催を英断されたことは素晴らしい（仕方ない）と思います
- 発表者等の他県の方々との意見交換は、対面ならではの良さかと思うから
- 様々な状況が懸念される中、心配なく参加ができました

「どちらとも言えない」

- オンラインだと移動時間が省けるため、当日もギリギリまで授業ができ有り難いです。しかし、主催者側は準備がさらに大変になったのではないかと思うので、どちらとも言えないにチェックしました
- オンラインで実施した方がよい点（記念講演など）と分科会は対面式の方がより学び合いになるかなと思ったのでどちらともいえないと回答しました
- オンラインも対面もそれぞれメリット、デメリットがあるが、情報の提供、情報の公開という意味では、今後もオンラインの良さを続けていくべきだと思う。どこにいても、どんな障害があろうとも同じように教育が受けられる（＝情報が得られ、考えが発信できる）というインクルーシブ教育を目指すと言うのなら、参加者しか情報が得られないという、単純に以前の対面式の研究大会に戻すというのは、考慮すべきだと思う
- コロナ禍の状況によるので
- ハイブリッド開催のように、対面及びオンラインの良さを最大限に生かすような研究大会であるといいと思います。まだまだオンラインの良さが引き出されていないような気がします
- ハイブリッド形式
- ハイブリッド形式
- メリット：移動の手間がなく、どこの県でも参加しやすい
- デメリット：運営側の準備は大変かと思う。そこがクリアされるなら有効だとは思う
- 開催場所が遠方である場合には、参加する場合が難しくなるため、オンライン開催がありがたいです
- 公開授業等、実際に目にした方がよいと思われる内容があれば、現地での対面式も含めたハイブリッドの形態も検討してよいかと思っています
- 公開授業等があれば、対面およびオンライン（可能な範囲で）のハイブリッド形式が希望です
- 素晴らしい講演内容を居ながらにして拝聴できることは素晴らしい。もちろん参集型の方が良いことは理解している。でも直接参加出来なくても聞けるのは魅力的
- 対面、オンライン両方の利点を活かし、どちらでも参加できるとよい
- 対面がよいが、参観者も含めてオンラインだと参加しやすく、目前で資料が見られることで集中しやすい
- 直接お話を伺いたいが、時間的距離的な問題があるため

「できれば対面式での研究大会が望ましい」

- 学校からの参加は、なかなか集中できないから
- 時間に限りのある中で、オンラインの設定もよいと思うが、対面で直接質問できる場があるとまた違った意見交換ができるのかもしれない、と感じるから
- 情報交換ができればと思います
- 相手の表情や反応を見ながら話をしていきたい
- 対面で生の声を聞きたいと思いました
- 発表者としては、オーディエンスの表情が見えないことが気になりました。回線が混雑するため、仕方のない措置だと思います。来年度、分科会ごとに発表会場を分け、間隔をとって実施することも可能ではないかと感じました

(5) 研究大会についてのご感想

記念講演に関するもの

- 合わせた指導についてのあり方と、その指導内容の理解が小学校の特支学級できているのかが疑問。国算しかしどろしていない学級が多く、また情緒学級からの知的による就学判定により中学入学と指導されていないケースによる知的生徒の対応が難しく感じる。本当の知的教育についても小中における普通学級の先生方にも理解してもらいたい。本研究は明日は休めないため、後日も見られることとなったのがとても助かりました。わかりやすい説明と、小中高の知的教育課程の変遷と各教科の指導のあり方、指導計画の練り直しの参考になります。本日は貴重なご講演ありがとうございました
- 特別支援教育については素人ですが、分藤先生のお話はわかりやすく、これから計画、推進していく上でどこに立ち戻ってどこを点検していけばいいかとても参考になりました。資料の確認もできました。ありがとうございました。明日のシンポジウムも楽しみにしています
- 大会事務局の先生方、準備・運営等本当にありがとうございました。分藤先生のお話を自分のものにできるように、今日教えていただいたことを再度学び直したいと思います。自校の子どもたちの学びが少しでもよりよくなるように、頑張ります
- 高等支援学校に勤務しているため、分藤先生の南風楼代表の声が印象的であった。企業の求める力を再確認でき職員にも共有していきたい
- 分藤先生の記念講演を聴いて、改めて特別支援学校の教科学習のあり方等について理解をすることができた。ありがとうございました
- 研究大会を通して、日ごろの実践報告を聞く機会や記念講演を通してみなさんと最新の動向等を共有することができました
- 算数の教科内容を事例として説明していて、わかりやすかったです。分藤先生のお話でも出てきた、職場実習を数学や国語の教科内容と関連させるような考え方は、「活動ありき」から脱却し、思考をアップデートしていくためにも、(合わせた指導をなくした)教科別指導をゴールとしないためにも、大切なことだと感じました。生活で生きるような各教科の「見方・考え方」を教師側がどのような工夫で教えていくことができるのか、しっかり考えていきたいと思えます。分藤先生、貴重なご講演ありがとうございました
- 本校では、学部間の連続性を持たせつつ、教科学習の本質にせまるきっかけになればと「学部として育てたい資質・能力」を設定して研究に取り組んでいます。分藤先生からご質問のあった「『育てたい力』などを、いつ、誰と、どのような手続き(システム)で高まっていることを確認するのか」というお言葉は、本校の取り組みにおいても今後参考となる問いでした。貴重なお話ありがとうございました
- とても勉強になった研究大会でした。特に、記念講演やシンポジウム①では教育課程の在り方について詳しく学ぶことができ、貴重なお話を聞くことができました。ありがとうございました
- 記念講演が参考になりました。ありがとうございました
- 記念講演の時刻と時間という具体的な内容についての内容が勉強になった
- 記念講演のアップを、期待しています
- 多忙の中、ご講演をありがとうございました。明日からの業務に早速活かしていきたいと思えます
- 分藤先生のわかりやすい講演が聞けて、非常に勉強になりました。ありがとうございました
- 大変勉強になりました。特に各教科の内容の取り扱いについては、自校のカリマネに大変参考になりました

シンポジウムに関するもの

- 本研究大会に参加して、特別支援教育における教育課程の考え方や、他学校の授業実践を共有し知ることができ、学びが多い機会となりました。今回学んだことを、これからの指導に活かしていけるよう、児童理解等に励んでいきたいと思えました
- 知的障害のある児童生徒への教育は、児童生徒一人ひとりの実態からオーダーメイドでつくられ、授業という形にするものと思っていたが、それは、「教科」というフレームの中で進めるべきものなのだろうか。考えさせられる大会だった
- 知的障がいのある教育課程について様々な実践報告を交えながら分かりやすく解説していただいたので理解が深まった
- 「ICTをいかに特別支援教育に取り入れ、活用していくのか!？」について、いろんな取り組みを知ることができて、とても参考になり、今後ともさらに研究・実践していく必要性を強く感じました。いろいろな情報を得ながら、子どもたちの実態に合った活用方法を見出すことができればいいと感じました。大会各プログラムで発表して頂いた各先生方、オンライン大会ということで事前の準備から、昨日・今日、そして大会後のまとめと今大会を企画・運営して頂いた多くの関係者の皆様、本当にお疲れさまでした。ありがとうございました
- ICT分野が得意でない私は、世界が広がった気持ちです。事務局の皆さま、ありがとうございました
- 他県の取り組みを知ることが出来、有意義な時間でした。ありがとうございました

分科会に関するもの

- 研究大会の開催、ありがとうございました。アーカイブも見られるとのこと、時間を作って講演など、拝聴できなかったところをしたいと思います。私は、第4分科会に参加させていただきました。平山先生、佐藤先生、稲垣先生のご実践は、子どもたちの実態をととても踏まえていて、とても素晴らしかったです。私は、小学校での特別支援学級での担任の経験があるものの、なかなか就労まで見通した指導ができていなかったと感じました。小学校での学習の基礎が就労にまで活かせるように、見据えて子どもたちに指導していきたいと思えます。城間校長先生の指導助言の中でのお話で、人材として世界に羽ばたくように、障害を見てではなく、一生涯を見て羽ばたかせるというお言葉が、心に残りました
- 6校の実践事例や指導助言を聞くことができ、とても勉強になりました。自立活動と日常生活の指導との違いが十分に理解できていなかったため、気をつけて授業計画を見直したいと思えます。絵カードを使用して見通しをもたせることで心理的な安定を図り、落ち着いて活動ができるようになる事例が多くあったので、参考にさせて頂きたいと思えます。また、著書の紹介もあったので、ぜひ読んでみたいと思えます。ありがとうございました
- 有意義な時間、ありがとうございました。分科会での実践については、勉強になりました。時間の都合上でしたが、もっと障害理解の啓発授業の具体的な内容を学びたいと感じました。まさに、課題としていた事なので、発達段階に応じた取り組み、とても良かったです!!ありがとうございました
- 研究大会お疲れ様でした。各提案者の方の実践事例を聞き、児童生徒に寄り添うことや様々な実態把握の方法、支援者の連携など、多くのことを学ぶことができました。これまでの連絡や調整、実施に向けて色々大変だったと思えます。大平の皆さん、どうもありがとうございました
- 実践例があり、普段の子どもたちの様子と照らし合わせながら、聞くことができ良かった。また、絵カードが必ずしも自閉症児全員が有効的ではないということが分かり、子ども一人ひとりを丁寧に状況把握することや、保護者との意見交換の前に本人の気持ちも丁寧に聞き取る大切さも学ぶことができました
- 栄養士(栄養教師)を知的学級のゲストTに招き、食育指導(生活単元学習)を行っていた活動がとても良かった。2年計画での実践であったが、可能ならうちの学校(学級)でも実践できないか・計画してみたいと思った

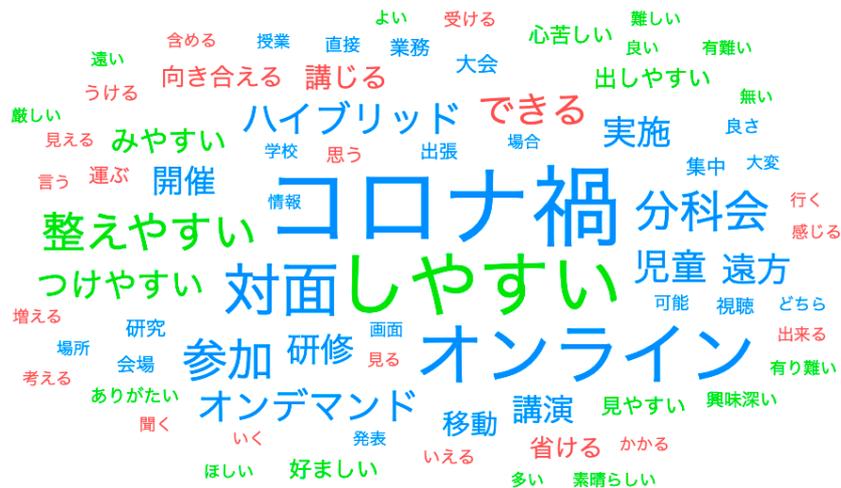
- 参加人数が多く、時間どおりに進まないことやタイムラグがおこることがありましたが、他県の先生方の実践事例を知ることができとても良かったです
- 分科会の発表はどれも良かったが、2つでもよいのではとも思う
- 短時間その場での助言あり質問等の報告で、わかりやすい
- 支援学校、支援学級のそれぞれの実践を聞くことができよかったです
- 具体的な実践報告をしていただき、とても勉強になった

そのほか

- この大会を運営された先生方、研究発表いただいた先生方、記念講演をいただいた分藤先生本当にありがとうございました。貴重な御意見、とても参考になりました。改めて本校でも見直すべき点、改善点等が具体的に実感できました。今後とも子どもたち一人ひとりの自立と社会参加のための支援に努めていきたいと思っております。本当にありがとうございました
- 先生方は毎日お忙しい中で、子供達の為により良い教育を目指して研究を重ねてご指導、ご支援くださり、ありがとうございます。そのおかげで子供達は毎日楽しい学校生活を送ることができているのだと改めて思いました。研究大会に参加させて頂き、ありがとうございました
- 記念講演をはじめ、各分科会の実践内容がとても勉強になりました。また、助言して下さった先生の言葉を聞き、授業の工夫や生徒の実態把握の仕方等をもう一度見直し、目標設定を具体的に考える必要があると思えました。貴重な学びとなりました
- 毎年、いろいろな実践発表があり、刺激を受けています。シンポジウムも、タイムリーな内容で勉強になりました。運営に係わった皆様、特に大平特使の皆様、ここ数年、本当にお疲れさまでした
- 二日間、大変ありがとうございました。とても勉強、参考になることばかりでした。今後の実践についても考えさせられることばかりでした
- 多種多様な素晴らしい実践を知ることができるとともに、現場の課題について互いに共有することができることができた
- 参加できなかった分科会を後日視聴できるという計らいが嬉しいです。来年度の福岡大会での「人材育成」の分科会を楽しみにしています
- 参加申し込みした者が大会すべての内容をアーカイブで視聴できることがいいと感じる。先生方の実践や先進的な取り組みを知るいい機会となった。ありがとうございました
- 運営までの諸準備、大変だったと思いますが、スムーズに連絡も届いておりました。報告者、登壇者、事務局の皆さんも含め感謝申し上げます
- 今回は2部会に参加させて頂きました。また、他の部会にも参加したかったです。ありがとうございました
- 九州管内の先生方の実践等を知ることができ、参考になることが多かった。発表等をされた先生方、お疲れさまでした
- 次年度、担当地区が発表割り当てになっているので発表内容等大変参考になりました。ありがとうございました
- 貴重な経験の場を与えていただき、ありがとうございました。また、事務局として運営をしていただいた沖縄県特別支援研究会の役員の皆様、本大会までお疲れさまでした
- 記念講演を聴きました。ありがとうございました。支援学校の教育課程の話が主で小学校の自分としてはもう少し元気をもらえる内容にして欲しかったです
- リモートで安心して参加できました。講演や分科会提案も聴きやすく、対面での意見交換はなかったが、充実していました
- メールで随時連絡をいただきスムーズに参加できた。ただ後から他の行事が入り、シンポジウムなど視聴できなかったことは残念だった
- どのような人が参加しているのか見えないのが残念ですが、同じ時間を共有することができてすごく良かったです
- スムーズ、そしてきめ細やかな運営でとても素晴らしい研究大会でした。運営して下さった大平特別支援学校の先生方、本当にありがとうございました
- コロナ禍での研究大会でしたが、たくさんの学びを頂くことができました。創意工夫を凝らし、運営して下さった皆様へ感謝申し上げます。お疲れ様でした
- オンライン開催ということで、大会運営等大変だと思います。これまで、特段のトラブル等もなく進んでいることに感謝と敬意を表します。午後の分科会までよろしくお願ひします
- オンラインならではのトラブルでタイムロスもあったが、各県の様々な取り組みを見ることができて良かった
- オンラインでの開催ありがとうございました。事務局は大変だったことだと思います。それでも、沖縄の先生方が1つになって運営をしたおかげで大成功したと思います。感謝いたします
- 有意義なお話が聞けました
- 勉強になります。ありがとうございます
- 特別支援学級での実践例や、取り組みをもう少し聞きたいなと思えました
- 停電もなく、無事に済んだようで良かったです
- 段取りがとても良く、ホームページなどから各分科会へのアクセスもスムーズにできて良かった
- 大会運営、お疲れ様でした。大会要項等とても工夫のある、見やすいものでした
- 他の分科会の内容も年度内で拝聴したいと感じました
- 小学校でも教育課程や児童の進路、就職について考えていけないといけないから
- 実践報告が多く、また、参加も多い大会となってよかったです。運営の先生方、お疲れ様でした
- 実践発表者並びに企画運営に携わった方々、お疲れ様でした
- 事務局の皆様、発表の皆様お疲れ様でした。ありがとうございました
- 業務の都合上少ししか参加できなかったが、大変有意義な時間で学びも多かったです
- 教育課程編成の取り組みについて、とても参考になった
- 記念講演については丁寧に説明があり勉強になりました。係の皆さん、企画運営等本当にお疲れさまでした
- 記念公演の設置者が違う学校間の連携が不足しているという内容が勉強になった。ありがとうございました
- 各学校の提案を聞き、大変参考になりました。ありがとうございました
- 運営がしっかり準備されているので、問題なく視聴できました。ありがとうございます
- 運営ありがとうございました
- 一貫性・系統性のある学びについてのポイントを知ることができ、大変参考になった
- リモート開催の段取りが大変わかりやすく、スムーズに参加できました
- よく考えられている。Zoom担当者は、大変だったと思われる
- なかなか普段振り返らない教育課程編成のつながり、重要性について考えさせられました
- かわわった皆さん、本当にお疲れさまでした！！
- お忙しい中大会開催ありがとうございました
- お疲れさまでした。情緒学級の生徒の学力の高さに驚きました。ありがとうございます
- オンラインでの開催を大変ありがたく感じております
- オンラインでの開催に大変感謝しております。ありがとうございます

事務局からの回答あり

- 特別支援教育に関わるようになって日が浅いので大変勉強になりました。ありがとうございます。ただ、予定終了時刻をきちんと守っていただき良かったです。業務の予定があり、終了前に退出せざるを得ませんでした
→ 大会事務局の不手際により予定終了時刻16:45のところ、第7分科会にて2分、第6分科会にて4分、第5分科会にて6分、それぞれ終了時刻を超過してしまいました。大変申し訳ございませんでした
- 大会参加として各県の代表者が出ていましたが、記念講演などでは発表者以外画面に表示されなくてもいいのではないのでしょうか。沖縄大会でのオンライン活用は今後の大会の参考になると思います。ありがとうございます
- オンラインなので、話をする人はマスクを取って話をしてもらいたいです。どなたがしゃべっているのかわかりづらい上に、聴く側は、オンラインで、さらにマスクで表情も見えないとなると淡々と話しているように感じてしまいます。複数名いる会場では、透明マスクなど何か対策ができないでしょうか
→ 大会事務局として、オンライン研修において「いかに安定して配信を行うか」に意識を注ぐあまり、ご登壇者への配慮を欠いてきた反省があります。本研究大会ではこれらを踏まえ、ご登壇いただく方々が参加者の反応を見ながらご発表いただけるように、可能な範囲においてそれ以外の皆様のビデオをONにさせていただくようお願いを致しました。また配信をする場所が個室ではない、健康上の不安があるなどの個々人の事情に配慮し、発表時のマスク着脱も任意と致しました。ご理解いただきますよう、何卒よろしくお願い致します
- 事務局の皆様お疲れ様でした。メタバース体験し良かったです。次回に期待します
- 参加申し込みはしなかったのですが、「交流会」がどのような状況になるのか、事後報告が楽しみだったので、中止は残念でした
→ 昨今、教育現場での活用が期待されるメタバース空間でのプログラムとして、参加者の皆様の今後の実践の一助となればと考えておりましたが、実施時刻の設定や事務局のPR不足のため、このような形となりましたことをお詫びいたします。つきましては、次年度以降の研究大会運営のため、反省を引き継いで参ります
- 私の勉強不足もありますが、特別支援学校の内容が中心で、情緒学級がなく。また、とても難しかったです
→ 本研究連盟は、知的障害教育校の皆様を会員として、広く特別支援教育全体の振興を図ることを目的としております。そのため、取り上げる内容も知的障害教育が中心となっており、情緒障害教育に携わる皆様に対しては十分な研修・研鑽の機会とならなかったかもしれません。今後はぜひ九州地区情緒障害教育研究会 (<https://www.kyujiyoken.com>) の活動もご参考にして下さい
- できれば全部の分科会をみたいので、オンデマンドで全部見られるとうれしいです
- シンポジウムに参加することができませんでしたが、次に機会があれば参加したいと思います
- リアルタイムではなくいつでも視聴できると全部ゆっくり研修することができたかなと思います。内容を全部聞けなかったのが残念です
- オンライン研修では音声大明瞭であるかが成否への影響が大きいですが、今講演会では途中何度も音声が不明瞭な箇所があった
→ オンライン配信の音声については、発表者だけでなく参加者のネットワークの通信状況、各々が使用する端末の性能や接続するAV機器等の影響を受けます。当日聞き取りづらかった内容や、そのほか業務等のご都合によりご参加いただけなかったプログラムについては、後日、大会参加者に向けて限定公開するオンデマンド配信をぜひご活用ください



「研究大会への感想」A.I.テキストマイニングの結果

文中で使用されている名詞・動詞・形容詞を分析し、その出現頻度を文字の大ききで表しているワードクラウド

(6) 各プログラムの登壇者への感想・質問

ご感想

- ・第6分科会の徳留先生の提案が、今の私のクラスの子の困っているところと似ていて非常に勉強になりました。環境を整えることは意識していたのですが、交流学級の子どもたちに、こういう時はこうしてあげてね。と話したことがなかったので、すぐ実践したいと思います。とても勉強になる提案でした。ありがとうございました
- ・本日、事例を発表していただいた先生方の日々の実践や姿勢が大変刺激となりました。ありがとうございました
- ・お忙しい中、お話しいただきありがとうございました。今日はゆっくりと休んでください。ありがとうございました
- ・ありがとうございました
- ・ありがとうございました。共生の考えに同感です
- ・お疲れさまでした。ありがとうございます
- ・お疲れ様でした。講演や提案などありがとうございます
- ・ご講演ありがとうございました
- ・タブレット端末活用コンテストは、授業や学校全体でも実施できる気がしました
- ・どのプログラムもその子にあったスモールステップが考えられていました
- ・わかりやすいプレゼンで参考になりました
- ・各登壇者の資料やパワーポイントが分かりやすかったです
- ・最後の方で示された就職に関する企業への説明会の話は、大変参考になりました
- ・事前準備等、御苦勞様でした。
- ・就職後のフォローはどのように行っているのか
- ・大変詳細なお話をいただき大変勉強になった

ご質問

- ・平良中学校の楚南先生へ。取り組みの発表内容、色々と参考になりました。ありがとうございました。質問（教えていただきたいこと）1つお願いします。情緒学級の生徒は、国語と数学は情緒学級で受けているとありましたが、その際の教科の指導は、どの先生が担当されていますか？（情緒担任or教科の先生）。また受験もあるので、基本的には協力学級と同じ内容を進めるとは思いますが、その場合、実際の指導や教材や授業での連絡事項のやりとりなどどうされていますか？なにか工夫している点があれば、教えていただきたいです
 - 私の提案内容を聞いていただき、ありがとうございました
 - 「国語・数学での教科指導はどの先生が担当されていますか？」：情緒学級の担任（免外）がもつこともあれば、教科の先生がもつこともあります。通常学級の専科の先生が教えることはあまりないので、そこが本校の課題だと思います
 - 「実際の指導や教材や授業での連絡事項のやりとりなどどうされていますか？」：週に3時間ある国語は時間割編成の都合で、火曜日は私、月、水曜日とは〇〇先生、と指導者が2人になることもあり、その場合は各教師間で何を学習したのか、学習の進度などを毎回共通確認しています。試験問題、成績入力も話し合って分担しています。私の専門は美術ですが、美術の授業（通常学級も指導している）以外に知的学級の国語、数学、情緒学級の英語を教えています。高校受験も控えている中、手探り状態なので、英語専科の先生に、何をするのか、ポイントは何なのか、期末試験の範囲は、とにかく聞いています。文字を読み、書くことが苦手なLDの生徒には、できるだけ聴覚を活用した授業にしています。英語では生徒のタブレット端末にはいつているデジタル教科書の動画を一緒に視聴して内容を確認し、プリントは拡大コピーし、書くことは分量を減らし、書く欄を大きくし、代筆もしています。「書く」という苦手意識を軽減し、「わかった、できた」「こういう方法なら自分はできる」という経験を多く積ませたいです。ちなみに、研究対象のQさんは大の勉強嫌いで成績はあまり良くないのですが、2学期から勉強に目覚め、塾にも通い、鉛筆と消しゴムをもって授業へ遅刻しないように急ぐようになりました。きっと砲丸投げでの快挙が、自信につながったおかげだと思います。負けず嫌いなQさんは、自分と協力学級の学習の進度をいつも比べ「俺の方が早い！」とモチベーションを高めて授業へ臨んでいます。授業者もこの負けず嫌いな気質をうまく生かして授業を展開しています。砲丸投げで見せてくれた集中力が、ついに学習へ向かう時が来た！と関わる職員みんな期待し注目しています
 - 回答は以上です。長くなりすみません。生徒のよりよい自立と共生社会の実現を目指して、共に頑張りましょう
- ・第3分科会 宮古島市立平良中学校 楚南先生へ。楚南先生の特支での専門性が、普通中学校で発揮されている様子にとっても感銘を受けました。支援学校と普通学校の職員体制では、いろいろな点で違いがあり、もしかしたら最初は孤軍奮闘されて苦しい思いもされたかもしれないと思いましたが、システムを使って全職員に生徒の指導面の配慮などを共有したり、そのことで、対象生徒が自己肯定感を高めて、成長していく様子が見れ、素晴らしいと感じました。今、地域の就学支援委員会に関わっていることもあり、支援学級の増加や、特に情緒学級の児童生徒の指導や対応で悩まれている先生方も多い現状を知っています。楚南先生のような取り組みや連携を、支援学校の職員としても考えていきたいし、支援学級の悩まれている先生方にも知ってもらいたいなあと思いました。ぜひ、支援学級の研究会などがありましたら、そういう場でも発表をして欲しいなと感じました。今後も頑張りたいです
 - 私の提案内容をお聞きいただきありがとうございます。励ましのお言葉とこちらの状況をお察しいただいたご感想、うれしかったです。先生は現在、就学支援委員会へ関わっているということで、メールの中でちらりと地域の中学校の現状を教えてくださいましたね。うちの学校だけではないということがわかり、ますます中学校での特別支援教育の工夫や連携の必要性を感じました。私が校種間計画交流で中学校へ赴任した理由は、宮古島の共生社会の実現を目指すためです。地域の子どもの意識が変われば、将来、私がかつて教えた特別支援学校の子ども達、現在の平良中での情緒学級の子ども達が、宮古島の社会に受け入れられやすくなるだろうと考えています。その目標に向かい、先生のご助言にあるように、情緒学級の生徒の対応に苦慮されている先生方へのヒントとなるよう、機会があれば発表し、一緒に対応を考えていきたいと思っております。貴重なご感想ありがとうございました

- ・第4分科会 大分県清川中学校の佐藤先生へ質問です。①特別支援学級と交流学級との連携・交流を図りながらの運営になると思いますが、どのような教育課程で実施されているのか詳細が知りたいです。②時間割など交流学級とは別で編成しているのでしょうか？③5教科、自活、生単、作業学習を知的学級で行っているとありますが、特に理科や社会はどの程度の内容を教科として学習しているのでしょうか？④複式の学級だと思いましたが、2年生もいるなかのように運営されていますか？長い質問になりすいません。回答よろしく願いいたします

- ①について：前任校の実践なので、データは手元にもなく、詳細な教育課程をお送りすることはできません。対象生徒の教育課程5教科は、本人の実態に合わせて、特別支援学級で作成しました。おおよそ小学校3・4年生の内容まで戻って、実生活につながる単元を基礎・基本を中心に作成しました。また、毎日1時間目は、自立活動に位置付けて（例えば中1はコミュニケーションを中心に）本人の困りをひとつづつクリアしていけるように、また、繰り返し取り組めるように作成しました。（支援学校での経験をもとに）生単は、学年や学校の行事と関連させて、例えば、中2修学旅行の時期には、原学級（インクルーシブの視点から以下このように記します）の事前学習よりも前に予習をする形で、また、各教科と関連付けて授業を組みました。（社会科の内容と）見学地の関西までに通過する県はどこか・日本地図ではどこになるか、交通手段は、見学のポイントは、（数学科の内容）お土産の予算に対して支出の予定、支払いの手順など。
- ②について：基本的には、原学級の時間割でした。その年の人員配置と時間数により、支援学級の教科を担当する教職員は私以外の先生にも担当していただきました。
- ③について：理科・社会の授業では、対象生徒の実態に合わせたカリキュラムを作成して、小学校3・4年生の学習内容から実生活（自立）に最も近い内容の単元を中心に基礎・基本内容の習得に努めました。（例えば、理科は「体のつくりと働き」社会は、自分の住んでいるところは地図のどこ、地元の特徴的な産業は何、等）
- ④について：支援学級の授業に、複数の教職員で教科を分けて担当した年は、同じ教室内でホワイトボードで教室を区切ってそれぞれの内容で進めました。それぞれの学年の日課表が基本になっているので、前任校では、複式で学習した年は1年間でした。その時は、生徒の実態に近い場合は同じ内容を学習する教科もありましたし、例えば数学で内容が異なるときには、一方で初めての単元をするときに教えている間、もう片方は自分でできる課題（復習）をするなどして工夫していました。

- ・第7分科会 鹿児島県立鹿屋養護学校 大坪先生へ。「3 指導の実際」の学習活動は、主に「自立活動」の取り組みかと思いますが、鹿屋養護学校の知的障害部門の各学部の「自立活動（時間の指導）」は週何時間設定されているのか、教えて欲しいです。実態によって（教育課程の種類の違いなど）も、時数が違うのかも教えて下さい。本校（沖縄県美咲特別支援学校）でも、軽度と重度の児童生徒では、中高等部は時数を変えてるのですが、適切な時数について今検討中なので、参考にさせて下さい。また、他の教科の指導はどのような感じなのかも知りたいです

- アンケートの回答ですが、課程の種類と授業時数の資料をお示しした方が分かりやすいと考え、資料を添付いたします（別添資料：<http://bit.ly/3F0BKbW>）
- また、自立活動以外の授業では、国語・数学においては、今回紹介した作業的な学習を活用し、ひもとおしの色と言葉のマッチング、ペンの組み立てでは、完成した本数と数とのマッチングなどを取り入れています
- 作業学習では、指先を生かして、手回しシュレッダーや紙ちぎり等を行なっています。細かくなった紙は、紙皿として製品化しています。製品にする過程で作業内容を細分化して、本人が出来ること、出来るようなことを見付けています。本人が得意な所と自立活動との関連を意識しています

〈第2分科会 唐津市立竹木場小学校 北口定吉先生への事前質問〉

※進行の都合上、事務局の判断にて当日の回答を割愛させていただきましたので、こちらでご回答をいただきます

- ・ねらいには、自立活動の各区分が示されていますが、生活単元学習として教科や領域のねらいはどのように設定されているか、お聞かせ下さい。また、生活年齢の異なる学習集団において、その内容や目標の系統性を確保するために、どのような工夫されているか、教えていただきたいです

- 生活単元学習「たんぽぽふぁ～む」の取り組みでは、春から冬と1年間を通して、取り組んでいます。その中で、小単元ごとに、教科でできる活動は絞られますので、生活に必要なと考えられる項目をSM社会生活検査の結果や普段の様子から、生活に必要なと思われる学習を現学年までの教科学習から考え、活動のねらいとしています。例えば、今回の学習では、算数科でのお金の計算は勿論のこと（ただし、あまり無理はさせないことを旨として、販売価格としての合算やお釣りに変えるための十円単位のたし算引き算程度）、「重さや長さの単位」「時刻と時間」他。理科での「植物と日光」「おしべとめしべ」他。その他、国語科や図画工作科でのねらいとも持ち、学習を進めました。ただし、児童の負担にならないようなねらいにし、学習しています。
- 3学年にまたがっているが、知的能力に大きな差を認められないので、上級生は、下級生に教え伝えられるような内容の学習を。また、下学年の二人は、最上級学年の児童をまね、教えあうことができるような学習で、相互に補完し学び合える関係づくりをしています。

問い合わせ



沖縄県
特別支援教育
研究会

令和4年度 事務局

山口飛・桑江広太
徳森愛・玉城百合香
廣渡善治・石川敦

TEL：098-877-4941 / FAX：098-876-4148

MAIL：okitokuken@as.open.ed.jp

沖特研HP：<http://www.okitokuken-as.open.ed.jp>

研究大会HP：<https://sites.google.com/ohira-sh.open.ed.jp/kyutokuren>

